

X線TV装置 清掃・消毒ガイド

「取扱説明書 (2B305-913JA*D) 」第13章 より、抜粋。

13. 4 清掃について

製品使用後は製品本体、オプション機器および室内を清掃してください。

清掃を、清掃業者などに委託している場合は、(1)～(2)の注意を必ず指示してください。

(1) 寝台本体および操作器の清掃

(a) バリウムなど造影剤の拭き取り

寝台にバリウムなど造影剤が付着している場合は、水拭きしてください。洗剤や溶剤など水以外のものを使用すると、汚れが拡散することがあります。

(b) 一般的な汚れの拭き取り

中性洗剤をつけた布巾で、汚れを拭き取ってください。中性洗剤は、洗剤メーカーが指定する濃度に薄めてご使用ください。布巾は、洗剤が垂れないように固く絞ってご使用ください。汚れを拭き取った後、乾いた布巾で乾拭きしてください。

(c) 患者固定バンドの洗浄

患者固定バンドは防水加工を施してあります。バリウムが付着した場合は、きれいな布巾で水拭きしてください。防水性が低下した場合は、防水処理を行ってください。マジックテープにバリウムが付いた場合は、ブラシに水をつけてこすり落としてください。天板裏のマジックテープにバリウムが付いた場合も、同様にこすり落としてください。

(2) 室内の清掃

室内の清掃で床を水拭きする場合は、水が垂れないように固く絞ったモップや布巾をご使用ください。

(3) モニタ（ライブモニタ、システムモニタ、参照モニタ）

ディスプレイ面が汚れていたら、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、OA 機器用クリーナを吹き付けたティッシュや柔らかい布で拭いてください。

また、通風孔に埃が付着している場合は、掃除機で埃を吸い取ってください。

(4) キーボードの清掃

キーの隙間の埃を掃除機で吸い取ってください。

(5) マウスの清掃

「画面上のポインタが思うように移動しない」というときは、マウス下部が汚れている可能性があります。レンズを傷つけないように清掃してください。

机またはマウスパッドの色や表面状態により動作しにくくなる場合もあります。その場合は、マウスパッドを変えて動作を確認してください。

(6) DVD ドライブ

データの信頼性向上等の観点から、サービス契約を結んで当社サービスエンジニアによる定期的な点検と清掃を受けていただきますようお願いいたします。

ご参考 適切な点検と清掃が行われないと、ゴミ・チリなどの塵埃が DVD ドライブのレンズや媒体（メディア）に付着し、レーザの発光調整等によるリトライ回数が増えることになります。その結果、媒体への書込み／読み込み処理にかかる時間が長くなることがあります。また、DVD ドライブの定期的な清掃が行われないと、書込み／読み込みエラーが生じやすくなります。

(7) 画像処理装置の PC の通風孔（ファン）部の清掃

PC をサブデスク（オプション）に収納しない場合は、床置きしないで、机の上など埃や熱が溜まりにくい場所に設置してください。通風孔に埃が付着している場合は、掃除機で埃を吸い取ってください。PC の前後左右には、それぞれ 5cm 以上の空間を確保してください。通風孔に埃がたまったり、又は周囲に十分な空間を確保しないで使用を続けると、内部に熱がこもり故障の原因になります。



- 警告**
- (1) 血液などが付着したときなど消毒が必要な場合は、「13.5 消毒について」をご覧くださいのうえ、適切な消毒作業を行ってください。
 - (2) 製品の電源を切った状態で清掃してください。電源が入っていると誤動作の原因となり、事故を起こすおそれがあります。また、水や洗剤などの液体が製品内部に入ると漏電の原因となり、感電のおそれがあります。
 - (3) 感染の可能性がある場合は、使い捨ての保護手袋を着用してください。

- 注意**
- (1) 製品に水や洗剤などの液体を噴霧しないでください。製品の内部に液体が入ると、故障や事故の原因となります。
 - (2) 製品の清掃に、シンナやベンジンなどの溶剤や、コンパウンドなどの研磨剤を含むものを使用しないでください。拭いた部分が白く曇ったり、キズが付くことがあります。
 - (3) 床に、水や洗剤などの液体をまかないでください。製品に液体がかかったり、ケーブル配線溝に液体が入ると、故障や事故の原因となります。
 - (4) モニタやプロセッサ背面にあるケーブルやスイッチに力を加えないでください。コネクタが緩んだり、スイッチの設定が変わったりすると、装置の誤作動・故障の原因になります。

13. 5 消毒について

消毒の専門知識を有する方の指示に従って、製品本体および周辺機器表面の消毒を行ってください。また、この装置はスポルディング（Spaulding）の分類上、ノンクリティカル器材です。そのため、直接患者へ接触することが目的ではなく、装置の消毒および滅菌は意図していません。

ただし、装置カバーなど部分的な消毒は可能としています。

血液など有機物が付着した装置カバー表面を消毒することが必要になった場合には、本節の記載内容に従い適切に処置をしてください。

- (1) 消毒剤：この製品は次の消毒剤を使用できます。使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分ご理解の上、ご使用ください。

薬 品	使用時の濃度
グルタルアルデヒド	2.0%
塩化ベンザルコニウム	0.2%

- (2) 消毒方法：消毒剤を含ませ軽く絞った布巾で、製品の表面を拭いてください。
さらに、消毒用薬品を拭き取った後、乾いた布巾で乾拭きをするかよく表面を乾燥させてください。
このとき製品内部に消毒剤が入らないように十分注意してください。
なお、画像処理装置の PC は消毒の対象外です。水または薄めた中性洗剤にて固く絞った布巾で清掃してください。

- ⚠警告**
- (1) 製品の電源を切った状態で消毒してください。電源が入っていると誤動作の原因となり、事故を起こすおそれがあります。また、引火性のガスや液体が製品内部に入った場合、火災や爆発を起こすおそれや、感電のおそれがあります。
- (2) 消毒後は、室内を十分換気してから、電源を入れてください。
室内に引火性のガスが残留していると、電源を入れたときに、火災や爆発を起こすおそれがあります。
- (3) 感染の可能性がある場合は、使い捨ての保護手袋を着用してください。

- ⚠注意**
- 製品に消毒剤をかけたり噴霧しないでください。製品の内部に消毒剤が入ると、故障や事故の原因となります。

- 注意 (1) 次のような消毒剤を使用しないでください。製品に損傷を与えます。消毒により損傷した製品は性能および安全性を保証できません。
- ・ 塩素系消毒剤など金属やゴムに対して強い腐食性を持つ消毒剤、または消毒剤の取扱説明書に、金属、プラスチック、ゴム及び塗装のうち一つでも、使用が不適と注意書きのあるもの
 - ・ ホルマリンガスやスプレータイプのように、製品内部に入り込むおそれのある消毒剤
 - ・ 消毒用エタノール（操作スイッチのフロントパネルなど、合成ゴムや合成樹脂の消毒には使用しないでください。）
- (2) 製品の消毒は最小限に行うようにしてください。繰り返しの消毒により、外装にひび割れが起こる場合や、ゴムやプラスチックが劣化する場合があります。消毒により製品に変化が表れた場合は、直ちに製品の使用を中止し、最寄りのサービスセンタに修理を依頼してください。

13. 6 滅菌について

この製品を滅菌処理することはできません。滅菌が必要とするときは、滅菌キャップや滅菌シートなどを使用してください。

13. 7 保管中の点検

装置の保管中にも、保守のための点検が必要です。保管期間の後で装置を使用する場合は、装置を清掃し、7.1 節「始業点検」の説明に従って点検を実施します。装置を長期間使用しない場合は、「保管時の環境条件」で指定されている保管条件の下で装置を格納してください。

13. 8 製品の廃棄について

⚠注意 お客様自らの廃棄や、当社の関知しない業者による廃棄は、環境に悪影響を与えます。また、鉛・液晶などを使用しており、関連法規などに基づく廃棄が必要です。

この製品および組み合わせ製品を廃棄する場合は、最寄りのサービスセンタにご相談ください。

13. 9 装置の故障

装置が故障した場合は、「故障中。使用しないこと」と装置に掲示し、当社のサービス担当者に連絡して修理を依頼してください。修理が済むまでは、装置を使用しないでください。